

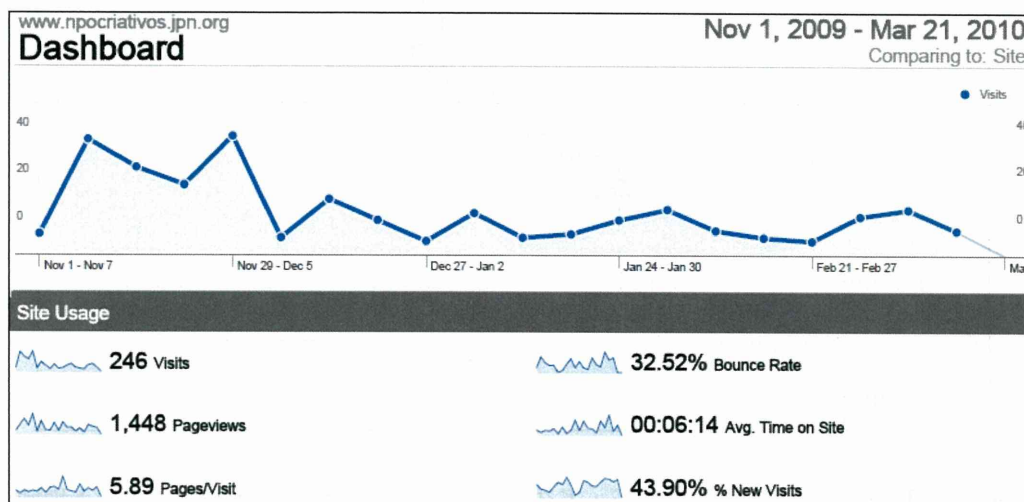
## 5) 大人向けのホームページ：アクセス分析

在日ブラジル人コミュニティの大人向けのホームページへのアクセス分析は2009年11月1日から2010年3月21日までのものをGoogle analyticsを使用して分析を行った。

上記の期間における総アクセス数は246件で、一時的に増加を認めたら、11月末からは安定的に横ばいにアクセスされている(図31)

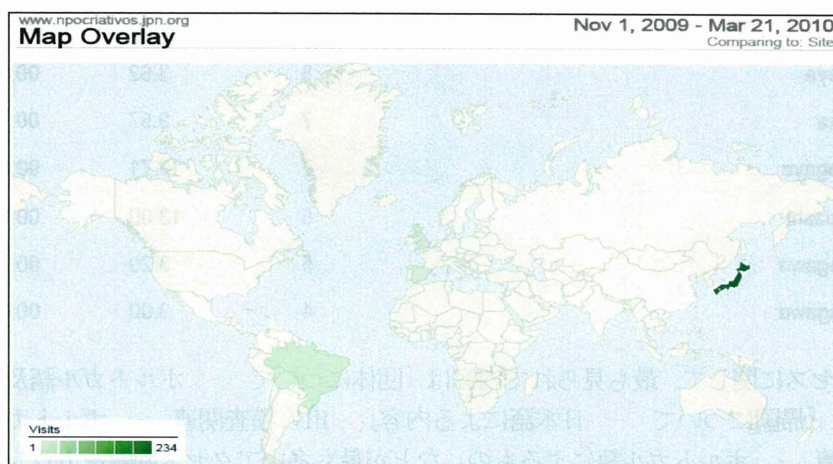
「平均接続時間」は6,14分、「平均回覧ページ数」は5,89ページ、「新規アクセス率」43,9%、「リターンアクセス率」約56%で高いものであった。

図31：NPOCRIATIVOS ホームページ：アクセス分析 - 総件数



アクセスポイントの地域に関しては、日本からのアクセスが最も多く、232件であった。そして、ブラジル(22件)、そのた、英国、ボリビア、スペインなどからのアクセスも見られた。(図32)

図32：NPOCRIATIVOS ホームページ：アクセス分析 - アクセスポイント地域



ブラジルからのアクセスに関して、「平均接続時間」が33秒で、非常に少ないものであったため、分析から外した。

日本国内からのアクセスに関しては、「平均接続時間」が6,35分、「平均回覧ページ数」が6,14ページであり、接続地域としては、神奈川県、愛知県、群馬県など、在日ブラジル人が多く在住地域

と一致することが分かった。(図 33、図 34)

図 33 : NPOCRIATIVOS ホームページ : アクセス分析 : 日本国内のアクセスポイント地域

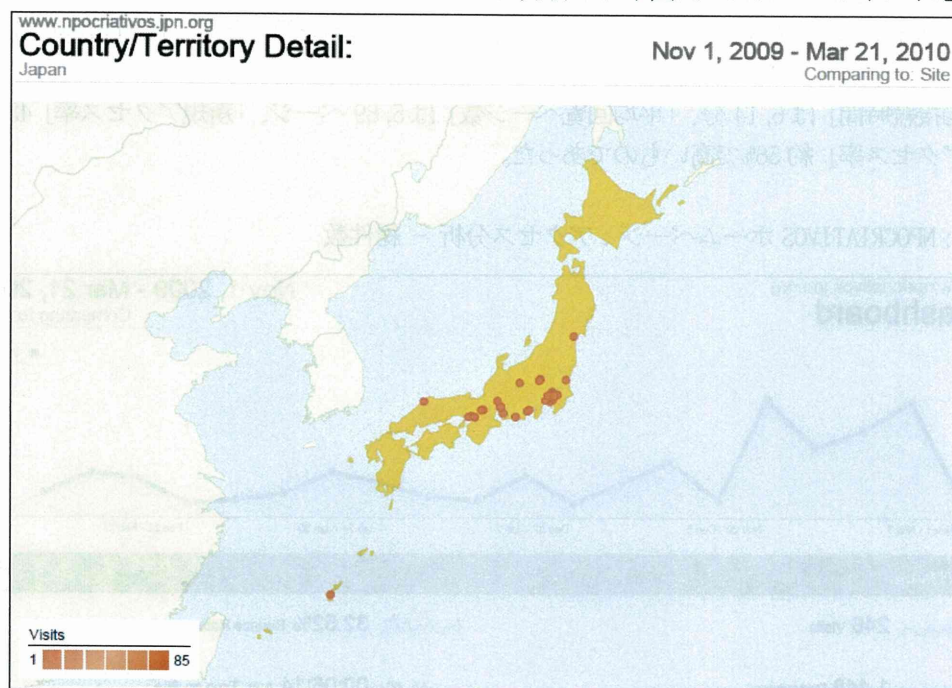


図 34 : NPOCRIATIVOS ホームページ : アクセス分析 : 日本国内のアクセスポイント地域 (詳細)

City	Visits	Pages/Visit	Avg. Time on Site
Hodogaya	85	6.12	00:06:04
Tokyo	45	4.27	00:05:02
Saiwai	13	4.23	00:02:39
Nagoya	8	3.62	00:07:19
Osaka	7	9.57	00:10:55
Hodogaya	7	12.71	00:30:46
Maebashi	5	13.00	00:11:20
Kanagawa	5	3.20	00:06:21
Kanagawa	4	9.00	00:07:52

また、アクセスに関して、最も見られて内容は「団体について - ポルトガル語及びスペイン語によるもの」、「帰国について - 日本語による内容」、「HIV 検査関連 - ポルトガル語によるもの」、「STD 関連 - ポルトガル語によるもの」などが最も多いアクセス回数をカウントしたことが分かった。(表 9)

表9：NPOCRIATIVOS ホームページ：アクセス分析 - アクセス内容

順位	内容	回数
1	Historia de CRIATIVOS (CRIATIVOS について)	397
2	ブラジル国へ帰国について	271
3	O que faz a NPO Criativos (CRIATIVOS の活動)	211
4	CRIATIVOS とはどのような団体か	141
5	Histórico (歴史)	118
6	Dias de teste de HIV em Tokyo e Kanagawa (HIV 検査日時 - 東京、神奈川)	68
7	¿Quiénes Somos? (私たちは誰? スペイン語)	64
8	Links úteis(リンク)	57
9	José Araújo fala para alunos da Universidade Tokai (アラウージョ氏が大学生に話す)	54
10	Tipos de DST (STD について)	41

#### 6) 大人向けのホームページ - 考察・今後の課題

在日ブラジル人コミュニティの大人向けのホームページに関しては、まだ開発途中であるため、多くの改善が必要としている。しかし、現在のアクセス内容を分析すると、やはり「日本における HIV 抗体検査」、「STD 関連」の情報へのアクセスが多いことから、過去の調査・研究で明らかになった(旧社会疫学研究班報告書参照)情報ギャップを埋める形になっていることが伺える。

また、日本語によるアクセスに関して、日本国内の医療機関等における外国籍の母国情報が足りない中、在日ブラジル人コミュニティに限らず、日本人社会への貢献できていることが考えられる。

今後は、当ホームページの周知に努め、フォーラムや Q. & A. コーナーの充実、「アンケート」コーナーを利用して、簡単な意識調査などを検討することが必要である。また、常に新しい情報をアップし、魅力的なホームページになるために力を注ぐ必要がある。

#### 参考文献：

1. 「在留外国人統計」、平成 21 年版。法務省入国管理局編「出国人管理」。
2. 「平成 21 年における外国人入国者数」法務省入国管理局編
3. 「ブラジル人学校等の実態調査研究」文部科学省。平成 21 年 3 月報告
4. 石井政之 in ハママツは移民社会日本を占う最先端都市 (日系ビジネス on line 2009 年 11 月 19 日)
5. エスニックメディア：IPCWORLD インターナショナルプレス ポルトガル語版
6. 「若者等における HIV 感染症予防に関する学際的研究」班、平成 18-20 年度報告書
7. 「HIV 感染症の動向と予防モデルの開発・普及に関する社会疫学研究」班、平成 15-17 年報告書

## ■ 2010年度 滞日外国人若者に対する予防介入研究

### 『目的』

日本に住んでいるよい多くの青少年、特に、ブラジル人学校に通っている若者を対象に HIV の予防教育に関する介入とその評

価を繰り返して、より浸透度の高い、かつ予防認識・態度に繋がる教育方法を見出すことを目的とする。

### 『方法』

当研究は、2つのホームページを通して情報提供を行っている。1つは若者を主としたホームページで、若者と一緒に作っているのもであり、HIV に留まらず、若者のセクシュアルヘルスやその時期の特有なテーマについても扱っている。

もう1つは、大人向けのホームページであり、主に HIV に関する情報や、HIV 検査について及び、HIV 陽性者向けの情報を提供している。

昨年度は主に、ホームページの開設に集中し、今年度はその浸透を促す活動を行った。

上記の2つのホームページの周知拡大を目的に、①エイズデーに伴って、ポルトガル語メディアにおける取材及び宣伝を実施した。

加えて、ホームページによる情報提供と共に、直接的な介入として、②ブラジル人学校における講演会を行った。

当研究グループでは、ここ数年、継続的にブラジル人における HIV 予防教育介入を実施している。今までの介入評価の結果により、いわゆる、HIV 関連の知識の上昇における効果は見られるが、「コンドーム使用への実現力の belief」、「赤ちゃんをまだ望まないときの否認法の実現力への belief」、など、態度の部分では明らかな介入の影響は検証されていない。(平成19, 20, 21年の研究報告書を参照)従って、今年度は HIV 関連の知識ではなく、感情に訴える講演会を目的として、ブラジルから PWHA かつ活動家である若者を通じて介入を実施した。

また、招聘された若者は、ブラジル人学校の生徒を対象とした講演会に加えて、メディアを通しての HIV 予防情報及びホームページの周知を狙った。

#### 講演会の内容と流れ：

1-時間：90分～120分

2-自己紹介(現在の活動：ブラジルでの活動家としての活動の紹介)

3-ライフヒストリー：生後6ヶ月に里親に出されてからのライフヒストリー、実の親の存在とエイズによって亡くなったこと、HIV とともに生きる幼児期の話し、学校生活、HIV 陽性者であることを両親から告がれたときの話し、自分自身が持っていた(特にゲイと黒人に対して)が無くなっていくプロセス、HIV を受け入れるまでのプロセス、思春期時に荒れて、里親を恨み、社会を恨んで、それから「人権」を基本とする活動家としての自己開発のプロセス

4-家族の大切さ、両親への感謝と尊敬：荒れた時期から現在の自分の人生を振り返って、両親の存在の大切さの話

5-恋愛や付き合い、責任のある性関係について：自分自身が HIV に感染していて、相手に移さない責任感、自分自身が他の性感染症に掛からないための自分自身への責任感、相手を思う責任に加えて、女性は自分の体と自分を守る責任感、男性は女性を尊重する責任感

6-HIV に関する感染経路とコンドームの必要性

7-ディスカッション：ディスカッションでは、

主な質問は講演者自身の人生についてであった。HIV とともに生きることの辛さや、両親への思い、恋人に HIV のことをどのように話すか、性関係のテーマでどのように相手に話しかけるのか、などであった。

8-vidadolescente ホームページの紹介、ホームページアドレスが記載されているカードおよび、パンフレットの配布、メールアドレスの交換

ブラジルの若者を招聘しての介入実施は下記のスケジュールで行った：

- ① メディアへの周知：
  - a. ラジオ番組における周知活動：  
11月27日 浜松市を中心に聞かれている Radio Fenix において出演
  - b. SKYPERFECT TV ポルトガル語チャンネル IPCTV ニュース番組における周知活動：11月23日 横浜市会場における取材
  - c. ポルトガル語フリーペーパー (Alternativa) を通しての周知活動：取材を得て、12月号にて記載
- ② ブラジル人学校における HIV 関連の講演会を機会に、ホームページのアドレスが記載されている名刺を渡した。(添付資料1を参照)  
講演会を実施した学校と日程は下記の通りである：
  - ア) 11月24日 Santana ブラジル人学校 (滋賀県)
  - イ) 11月25日 Instituto Educare ブラジル人学校 (茨城県)
  - ウ) 11月25日 Colegio Opcao ブラジル人学校 (茨城県)
  - エ) 11月26日 Colegio Desafio ブラジル人学校 (長野県)
  - オ) 11月30日 Nippaku 学園 ブラジル人学校 (群馬県)

なお、ホームページの周知を促す目的と共に、

ブラジル人学校における直接的な介入は研究全体のバロメーターとして実施する、すなわち、講演会の効果評価及び若者の変化を察知する目的もある。

従って、各学校における講演会の約1ヶ月～2週間前に事前調査(無記名自己記入式アンケート調査票)を実施した。

アンケート調査票は、年次の傾向を調べるために、2 昨年前のものと同様のものを使用した。(添付資料2を参照)

調査項目は「属性」、「日本における滞在への満足度」、「インターネットアクセス状況」、「タバコ、アルコールなどの経験」、「その場限りの付き合い関連」、「ステディーな恋愛関連」、「性交渉経験関連」、「HIV・STD・避妊などについての知識」、「性交渉への容認」、「避妊や予防への態度」、「当研究のパンフレットやホームページへの暴露について」などであった。

また、講演会の2ヶ月後に事後調査(無記名自己記入式アンケート調査票)及び、3校における講演会の1週間後にグループインタビューを実施した。

講演会後のアンケート調査票は、主に「属性」及び「HIV・STD・避妊などについての知識」、「性交渉への容認」、「避妊や予防への態度」、「当研究のパンフレットやホームページへの暴露について」であった。また、「講演会への意見」や「印象に残った話」を自由に書く欄を設けた。(添付資料3を参照)

そして、講演会後のインタビューの内容としては、主に「講演会で最も印象に残り」、「インタビューの時までどのような話を思い出したか」、であった。講演会実施後のグループインタビューを実施した学校、日時、参加人数、年齢や性別は下記の通りである：

- a. 12月8日 Colegio Opcao ブラジル人学校 (茨城県)  
参加者：7名(男子3名、女子4名)：、女2名12歳、女13歳、男13歳、女15歳、男15歳、男17歳。
- b. 12月10日 Colegio Desafio ブラジ

ル人学校（長野県）

参加者：10名（男子7名、女子3名）：  
女13歳、男13歳、女2名14歳、男2  
名14歳、男15歳、男2名16歳、男  
17歳。

c. 12月16日 Nippaku 学園 ブラジル人  
学校（群馬県）

参加者：7名（男子3名、女子4名）：  
女13歳2名、女14歳、女15歳、男  
14歳、男15歳、男16歳。

## 『結果・分析』

### (1) 【若者向けの HP への暴露について】

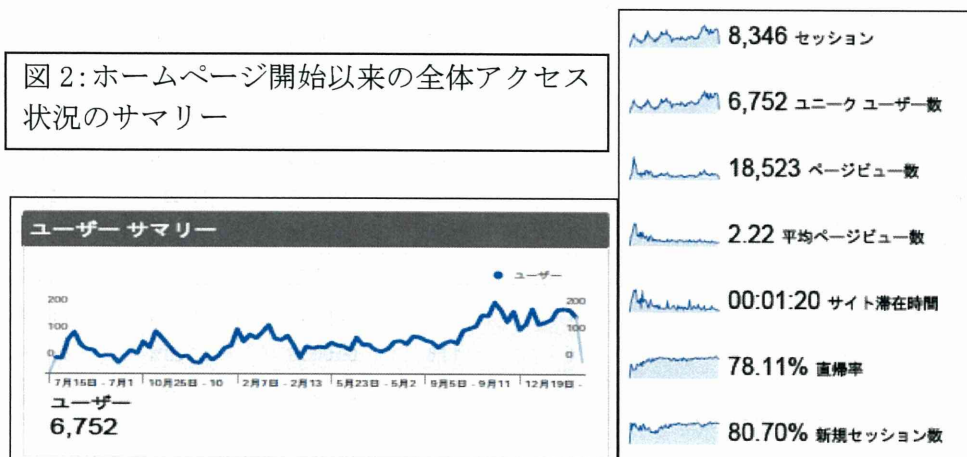
今年度の2つのホームページの周知拡大に関して、まず、全体のアクセス状況を把握し、そして、2つの比較グループを設け、その比較を行った。2つのグループとは、1つは、今年度において宣伝に力を入れた時期(2010年11月1日～2011年1月31日)

と、特に大々的に宣伝をしなかった同じ時期(2009年11月1日～2010年1月31日)の、2つの時期におけるHPへのアクセス状況を google analytics による比較を行い、分析を行った。

#### A. 「全体のアクセス状況」

2009年7月14日の立ち上げから、2011年2月28日までの利用者数は6,752であり、図の通り、上昇傾向であると見られる。そして、その利用状況としては、このユー

ザーが閲覧したページ数は18,523ページで、ホームページへの平均滞在時間は1分20秒であった。(図2)



また、検索キーワードで最も使用されたキーワードは、「コンドームの種類」である。そして、次に、ホームページの名前「vidadolescente」であった。(図3)

(図3: HP 開始以来の検索ワードにおける「最も使用されたことば」)

キーワード	セッション	セッション数の割合	
tipos de camisinha	2,070	35.71%	コンドームの種類
vidadolescente	254	4.38%	vidadolescente
tipos de camisinhas	236	4.07%	コンドームの種類
o que é ser virgem	152	2.62%	Virgem とは何か
nutrição na adolescência	86	1.48%	思春期と栄養について

ホームページへのアクセス地域としては、36の国からアクセスがあり、アクセスランキング1位が「ブラジル」で5,618、2位が「日本」で2,377であった。そして、それぞれの国のページへの平均滞在時間と平均

回覧ページ数は、ブラジルが26秒で1.26ページ、そして、日本においては滞在平均時間が3分37秒と平均回覧ページ数は4.63ページであった。(図4)

(図4：HP開始以来「アクセス地域」の分布)

36 国/地域からのセッション数 8,346						
利用状況						
セッション	セッションあたりの回覧ページ数	平均サイト滞在時間	新規セッションの割合	直帰率		
8,346 サイト全体の割合: 100.00%	2.22 サイトの平均: 2.22 (0.00%)	00:01:20 サイトの平均: 00:01:20 (0.00%)	80.76% サイトの平均: 80.70% (0.07%)	78.11% サイトの平均: 78.11% (0.00%)		
国/地域	セッション	セッションあたりの回覧ページ数	平均サイト滞在時間	新規セッションの割合	直帰率	
Brazil	5,618	1.26	00:00:26	97.24%	90.44%	
Japan	2,377	4.63	00:03:37	39.88%	47.20%	
Portugal	196	1.15	00:00:14	97.45%	91.84%	
United States	49	1.18	00:00:03	89.80%	87.76%	
(not set)	28	1.11	00:00:47	92.86%	92.86%	
Angola	8	1.00	00:00:00	100.00%	100.00%	
Mozambique	7	1.00	00:00:00	100.00%	100.00%	
United Kingdom	7	2.00	00:00:49	71.43%	85.71%	
Canada	6	1.17	00:00:00	83.33%	83.33%	
France	4	1.50	00:00:00	75.00%	75.00%	
Italy	4	1.75	00:00:28	100.00%	75.00%	
Cape Verde	4	1.00	00:00:00	100.00%	100.00%	

### B. 「全体のアクセスにおける国別比較」

当ホームページの対象者は日本在住のブラジル人若者である。しかし、全体のアクセスを見ると、立ち上げの2009年07月14日～2011年2月28日までの間、ブラジル国からのアクセスが最も多く、5,618セッションへアクセスがあり、平均回覧ページ数は1.26で、平均滞在時間は26秒であった。そして、サイトへの平均滞在時間とし

ていは、1セッションで56ページを回覧し、38分15秒滞在したのが最も長いものであった。(図5)

そして、セッション数として最もアクセスが多かったブラジルの都市は「サンパウロ」で885セッションで、セッションあたりの回覧ページ数は1.26ページ、また、平均滞在時間は27秒であった。(図6)



(図5：HP開始以来、ブラジル国からのアクセス地域分布 - 閲覧ページの多い順)

この国/地域からのセッション数 5,618、354 種類の都市						
利用状況						
セッション	セッションあたりの 閲覧ページ数	平均サイト滞在時間	新規セッションの割合	直帰率		
5,618 サイト全体の割合: 67.31%	1.26 サイトの平均: 2.22 (-43.11%)	00:00:26 サイトの平均: 00:01:20 (-67.86%)	97.24% サイトの平均: 80.70% (20.50%)	90.44% サイトの平均: 78.11% (15.79%)		
都市	セッション	セッションあたりの 閲覧ページ数	平均サイト滞 在時間	新規セッショ ンの割合	直帰率	
Castelo	1	56.00	00:38:15	100.00%	0.00%	
Santarem	1	2.00	00:11:03	100.00%	0.00%	
Dourados	7	4.00	00:10:35	100.00%	71.43%	
Tres Pontas	1	2.00	00:07:41	100.00%	0.00%	
Botucatu	6	2.83	00:06:11	66.67%	33.33%	
Conquista	1	2.00	00:05:49	100.00%	0.00%	
Ipatinga	1	2.00	00:04:58	100.00%	0.00%	
Teofilo Otoni	3	3.33	00:04:52	100.00%	66.67%	
Macapa	6	2.83	00:04:41	100.00%	83.33%	
Divinopolis	2	1.50	00:03:36	100.00%	50.00%	
Suzano	12	2.42	00:03:32	91.67%	83.33%	

(図6：HP開始以来、ブラジル国からのアクセス地域分布 - セッションの多い順)

都市	セッション	セッションあたりの 閲覧ページ数	平均サイト滞 在時間	新規セッショ ンの割合	直帰率
Sao Paulo	885	1.26	00:00:27	98.64%	90.28%
Rio de Janeiro	475	1.30	00:00:25	98.74%	91.58%
Belo Horizonte	229	1.19	00:00:22	96.51%	89.08%
Salvador	197	1.10	00:00:07	96.95%	92.39%
Fortaleza	197	1.13	00:00:34	97.46%	93.40%
Recife	197	1.77	00:00:59	93.91%	87.82%
Brasilia	193	1.06	00:00:02	97.93%	96.37%
Curitiba	167	1.08	00:00:04	98.20%	94.61%
Campinas	131	1.40	00:00:09	95.42%	91.60%
Porto Alegre	130	1.25	00:00:28	99.23%	90.77%

一方、日本国内のアクセスについては、2,377 セッションが見られ、平均回覧ページ数は4.63 ページであった。そして、最も滞在時間が長かったのは40分15秒で、1セッションで64 ページを回覧したアクセスであった。(図7)

また、日本国内からのアクセスで、最も多かった地域は「東京」で、415 セッションであり、そのセッションあたりの回覧ページ数は2.56 で、平均滞在時間は1分36秒であった。(図8)

(図7：HP 開始以来、日本国内からのアクセス分布 - 回覧ページ数の多い順)

この国/地域からのセッション数 2,377、175 種類の都市						
利用状況						
セッション 2,377 サイト全体の割合: 28.48%	セッションあたりの 回覧ページ数 4.63 サイトの平均: 2.22 (108.64%)	平均サイト滞在時間 00:03:37 サイトの平均: 00:01:20 (172.51%)	新規セッションの割合 39.88% サイトの平均: 80.70% (-50.58%)	直帰率 47.20% サイトの平均: 78.11% (-39.57%)		
都市	セッション	セッションあたりの回覧ページ数	平均サイト滞在時間	新規セッションの割合	直帰率	
Machida	1	64.00	00:40:15	0.00%	0.00%	
Oyama	1	85.00	00:31:19	100.00%	0.00%	
Saga	1	35.00	00:31:12	100.00%	0.00%	
Urasoe	1	2.00	00:24:45	100.00%	0.00%	
Komae	1	62.00	00:24:28	100.00%	0.00%	
Haibara	1	14.00	00:20:45	100.00%	0.00%	
Okazaki	4	12.50	00:20:01	50.00%	0.00%	
Sendai	2	14.00	00:18:39	50.00%	50.00%	
Kita	1	38.00	00:18:24	100.00%	0.00%	
Nishinomiya	1	18.00	00:18:10	100.00%	0.00%	
Mito	2	6.50	00:17:45	100.00%	0.00%	

(図8：ホームページ開始以来、日本国内からのアクセス分布 - セッションの多い順)

都市	セッション	セッションあたりの回覧ページ数	平均サイト滞在時間	新規セッションの割合	直帰率
Tokyo	415	2.56	00:01:36	17.59%	72.77%
Shibuya	200	1.68	00:01:04	20.50%	76.00%
Hodogaya	199	5.40	00:05:14	16.58%	45.23%
Hodogaya	188	5.55	00:06:57	6.91%	20.74%
Kawaguchi	101	2.12	00:01:44	8.91%	76.24%
Nagoya	84	3.44	00:02:58	79.76%	47.62%
Nagoya	75	7.88	00:04:28	82.67%	22.67%
Saiwai	67	8.09	00:04:58	25.37%	23.88%
Kizuki	63	4.60	00:03:02	22.22%	28.57%
Yokohama	58	4.52	00:06:08	12.07%	8.62%
Kanagawa	53	3.32	00:01:41	33.96%	56.60%

さらに、国別でホームページアクセスへのリピーターについては、「ブラジル国」のリピーター率は5,618セッションのうち、155セッションの約3%に対し、「日本国内」のリピーター率は約60%(2,377のうち1,429セッション)である。

そして、「ブラジル」からのアクセスについて、リピーターの1セッションあたりの回覧ページ数は2.05ページで、新規セッションでは1.26ページで、また、平均滞在時間はリピーターで1分23秒で、新規では26秒であった。(図9)

(図9：ブラジル国及び日本国内からのアクセスにおけるリピーター状況)

ブラジル国からのアクセスにおけるリピーター状況				
セッション	セッションあたりの回覧ページ数	平均サイト滞在時間	新規セッションの割合	直帰率
5,618 リピーター: 155	1.26 リピーター: 2.05	00:00:26 リピーター: 00:01:23	97.24% リピーター: 0.00%	90.44% リピーター: 69.68%
日本国内からのアクセスにおけるリピーター状況				
セッション	セッションあたりの回覧ページ数	平均サイト滞在時間	新規セッションの割合	直帰率
2,377 リピーター: 1,429	4.63 リピーター: 3.62	00:03:37 リピーター: 00:03:15	39.88% リピーター: 0.00%	47.20% リピーター: 53.81%

### C. 「昨年度と今年度における、周知拡大のための介入期間の期間比較」

2009年7月14日にホームページを立ち上げ以降の周知に関しての活動は小さく(昨年度の報告書参照)、しかし、今年度に関しては、周知拡大のため、いくつかの手段を取り、宣伝活動に当たった。従って、2つの時期を比較し、周知拡大の影響を分析した。

なお、比較対象となる時期としては、エイズ関連の話題が盛んである、エイズデー前後とし、「2009年11月01～2010年1月31日」と「2010年11月01～2011年1月31日」であった。

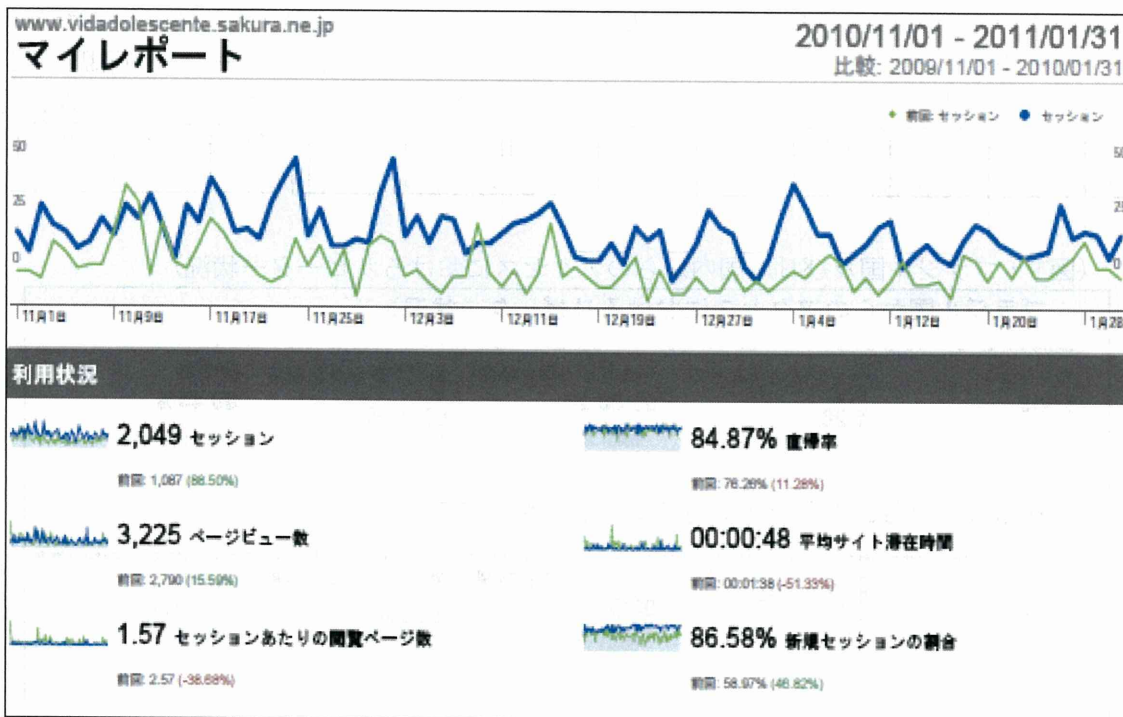
対象時期の比較により、昨年度と比べて、今年度のアクセス数が明らかに上昇していることが分かった。昨年度の「2009年11月01～2010年1月31日」の間のアクセス数は1,087セッションであったのに対し、

今年度の「2010年11月01～2011年1月31日」の間のアクセス数は2,049セッションであった。

回覧セッションに伴い、回覧ページ数も前期では2,790ページであったのに対し、今期では3,225ページであった。

しかし、1回のセッションあたりの平均回覧ページ数に関しては、前回は2.57ページであったのに対し、今回の回覧ページ数は1.57であった。また、回覧時間の平均も、前回に比べ、今回が短くなっていることが判明した。前期の平均滞在時間は1分38秒、そして、今期の平均滞在時間は48秒であった。(図10)

(図 10 : HP の周知拡大介入における全体のアクセス状況 : 非周知介入 対 周知拡大介入 時期)



そして、アクセスもとの国に関しては、昨年度と今年度の同時期を比較すると、「ブラジル」国におけるアクセス上昇率が約 187%であったのに対し、「日本」国内では、約 20%減少した結果となった。(図 11)

また、ブラジルと日本以外からのアクセスについては、同じポルトガル語を母語とする「ポルトガル」国が上げられるが、この国に関しては、前記と今期の比較により、今期では約 139%のアクセス上昇があった。

しかし、ブラジル国からのアクセスに関しては、前期と今期を比較すると、セッションあたりの平均閲覧ページ数や平均サイト滞在時間が減少し、それぞれ、約 24%と約 54%減少した。また、日本国内からのアクセスについても、減少幅は小さかったも

の、前記と今期の比較で、セッションあたりの閲覧ページ数は約 14%、そして、サイトへの平均接続時間は 0.53%減少した。

そして、全体から見て初めてサイトにアクセスを前記と今期を比較すると、ブラジル国からのもので、前記及び後期共に約 97%であったのに対し、日本国内では前記が約 18%で今期が約 46%であった。

加えて、サイトへ入って 1 ページのみを閲覧し、離脱するケースを国と前期・今期で分析すると、ブラジルからのアクセスで、前記は約 87%、今期は約 93%の離脱率があり、もう一方では、日本国内に関しては、前記の離脱が約 65%で、今期はそれより少なく約 53%であった。(図 11)

(図 11：HP の周知拡大介入における全体のアクセス状況：非周知介入 対 周知拡大介入 時期 — ブラジル国と日本国内からのアクセスの比較表)

24 国/地域からのセッション数 2,049					
利用状況					
セッション 2,049 前週: 1,087 (88.50%)	セッションあたりの 閲覧ページ数 1.57 前週: 2.57 (-38.68%)	平均サイト滞在時間 00:00:48 前週: 00:01:38 (-51.33%)	新規セッションの割合 86.58% 前週: 59.06% (46.59%)	直帰率 84.87% 前週: 76.26% (11.26%)	
国/地域	セッション	セッションあたりの閲覧ページ数	平均サイト滞在時間	新規セッションの割合	直帰率
Brazil					
2010年11月1日 - 2011年1月31日	1,502	1.17	00:00:19	97.07%	93.08%
2009年11月1日 - 2010年1月31日	524	1.54	00:00:40	97.52%	86.26%
変化率	188.64%	-24.21%	-53.61%	-0.46%	7.90%
Japan					
2010年11月1日 - 2011年1月31日	415	3.19	00:02:43	46.27%	53.49%
2009年11月1日 - 2010年1月31日	525	3.70	00:02:43	17.71%	65.14%
変化率	-20.95%	-13.80%	-0.53%	161.17%	-17.88%
Portugal					
2010年11月1日 - 2011年1月31日	67	1.18	00:00:24	94.03%	88.06%
2009年11月1日 - 2010年1月31日	28	1.11	00:00:04	100.00%	89.29%
変化率	139.29%	6.50%	451.57%	-5.97%	-1.37%

全体的にコンテンツへのアクセスを今年度において、周知拡大を目的とした介入時期と昨年度の同時期を比較すると、最も見られている内容は「コンドームの種類」であり、次に「virgin とはなにか」であったが、その多くはブラジルからのアクセスによるもので、特に今期（2010-2011）における上昇である。例えば、前期における「コンドームの種類」コンテンツへのアクセスは 300 セッションで、今期は 685 セッションで、約 128% の上昇であったが、今期における「ブラジル」からのアクセスが 685 セッションであった。また、「virgin であることはなにか」についても、ブラジル国からのア

クセスが最も多く、前期は僅か 2 セッションであったのに対し、今期は 411 セッションであった。

一方、日本国内からのアクセスにおける、同じく、ホームページの周知に関する介入の効果を分析するために、アクセス数において、昨年度と今年度の同時期を比較すると、減少しているものの「vidadolescente」、つまり、ホームページのカバーページ及び、HP 全体においてのページが最も見られていて、そして、「日本におけるブラジル人若者と語り合う」、「STD について」などについてが最もアクセス数が多いことが分かった。（図 12）

(図 12: HP の周知拡大介入における全体のアクセス状況: 非周知介入 対 周知拡大介入  
 時期 — 検索ワードにおける国別比較 (セッションの多い順))

Tipos de camisinha		Brazil				コンドームの種類
2010年11月1日 - 2011年1月31日		685	659	00:01:29		
2009年11月1日 - 2010年1月31日		300	281	00:01:19		
変化率		128.33%	134.52%	12.82%		
O que é ser virgem ?		Brazil				Virginであることは
2010年11月1日 - 2011年1月31日		411	392	00:07:49		
2009年11月1日 - 2010年1月31日		2	2	00:00:00		
変化率		20,450.00 %	19,500.00 %	100.00%		
Vidadolescente		Japan				vidadolescente(10代の生活)
2010年11月1日 - 2011年1月31日		351	239	00:01:01		
2009年11月1日 - 2010年1月31日		812	531	00:01:18		
変化率		-56.77%	-54.99%	-21.42%		
Você sabe qual é a camisinha mais fina do mundo ?		Brazil				世界で最も薄いコンドーム、知っている？
2010年11月1日 - 2011年1月31日		103	98	00:05:02		
2009年11月1日 - 2010年1月31日		0	0	00:00:00		
変化率		100.00%	100.00%	100.00%		
Um bate-papo com os estudantes das escolas brasileiras no Japão		Japan				日本におけるブラジル人若者学生と語り合う
2010年11月1日 - 2011年1月31日		92	76	00:02:05		
2009年11月1日 - 2010年1月31日		0	0	00:00:00		
変化率		100.00%	100.00%	100.00%		
Tipos de DST		Japan				STDについて
2010年11月1日 - 2011年1月31日		83	49	00:00:28		
2009年11月1日 - 2010年1月31日		82	42	00:00:33		
変化率		1.22%	16.67%	-13.93%		
Fique por dentro		Japan				知っておいておこう
2010年11月1日 - 2011年1月31日		82	49	00:00:31		
2009年11月1日 - 2010年1月31日		132	81	00:00:32		
変化率		-37.88%	-39.51%	-2.60%		
Nutrição e Adolescência		Brazil				思春期と栄養
2010年11月1日 - 2011年1月31日		73	69	00:03:02		
2009年11月1日 - 2010年1月31日		76	70	00:03:32		
変化率		-3.95%	-1.43%	-14.19%		

## (2)【ブラジル人学校を対象に直接的な予防教育介入のアンケート調査】

### a. 「事前アンケート調査」

#### 1. (男女別、単純集計の結果)

「回収率」 ブラジル人学校を対象に講演 (82/98) であった。(表 2)  
会前のアンケート調査回収率は約 84%

(表 2：ブラジル人学校を対象に直接的な予防教育介入の事前アンケート調査 - 男女)

有効回収率	度数	パーセント
女	41	50.0
男	41	50.0
合計	82	100.0

「属性」  
男女比は 1 : 1 (男 : 41/女 : 41) であった。  
平均年齢は女子で 14.51 歳 (±1.74 歳、中央値 : 14 歳)、そして、男子の平均年齢は 15.17 歳 (±1.53 歳、中央値 : 15 歳)

であった。  
学歴に関しては女子では、46.3%が高 1-3 の生徒で、また、中 1-3 が 36.6%であった。そして、男子では 48.7%が高校生で、46.1%が中学生であった。(表 3)

(表 2：ブラジル人学校を対象に介入の事前アンケート調査 - 男女別・学年分布)

性別	学年	度数	有効パーセント	性別	学年	度数	有効パーセント
女子	高1	10	24.4	男子	高1	10	25.6
	高2	7	17.1		高2	7	17.9
	高3	2	4.9		高3	2	5.1
	小5	2	4.9		小6	2	5.1
	小6	5	12.2		中1	7	17.9
	中1	3	7.3		中2	7	17.9
	中2	8	19.5		中3	4	10.3
	中3	4	9.8		合計	39	100.0
	合計	41	100.0				

「日本滞在」に関しては、女子では 41.5% が「以前にも日本に住んだ経験がある」と答えて、22%が「日本生まれで、ブラジルに行ったことはある」と答えた、また、「初めて日本に来た」と回答した女子は 29.3%であった。男子に関しては、「以前にも日本

に住んだ経験がある」と回答した生徒は 39%で、「日本生まれで、ブラジルに行ったことはある」と回答した男子は 29.3%、そして、「初めて日本に来た」と答えた人は 31.7% であった。(表 4)

(表4：ブラジル人学校を対象に介入の事前アンケート調査 - 男女別・来日状況)

性別	来日・滞在における状況	度数	有効パーセント
女子	日本生まれ、ブラジル行ったことなし	3	7.3
	日本生まれ、ブラジル行ったことあり	9	22.0
	初めて日本に来た	12	29.3
	以前日本に住んで、今回も居住	17	41.5
	合計	41	100.0
男子	日本生まれ、ブラジル行ったことあり	12	29.3
	初めて日本に来た	13	31.7
	以前日本に住んで、今回も居住	16	39.0
	合計	41	100.0

そして、日本滞在への満足度について、女子では「とても好き」と「好き」を合わせても、48.8%が日本に住んで満足していると見られる、また、36.6%が「まあまあ」と回答し、「余り好きではない」、「全く好きでない」及び「分からない」と合わせると14.6%を占めている。

一方、男子では、63.4%が「とても好き」又は「好き」と回答し、26.8%が「まあまあ」、そして、満足していないと考える人は僅か9.7%（「余り好きではない」+「全く好きでない」+「分からない」）であった。（表5）

(表5：ブラジル人学校を対象に介入の事前アンケート調査 - 男女別・日本滞在への満足度)

性別	日本に住むのが好きですか？	度数	有効パーセント
女子	1. とても好き	8	19.5
	2. 好き	12	29.3
	3. まあまあ	15	36.6
	4. あまり好きではない	4	9.8
	5. まったく好きでない	1	2.4
	6. 分からない	1	2.4
	合計	41	100.0
男子	1. とても好き	9	22.0
	2. 好き	17	41.5
	3. まあまあ	11	26.8
	4. あまり好きではない	1	2.4
	5. まったく好きでない	1	2.4
	6. 分からない	2	4.9
	合計	41	100.0

「将来への目標・希望・展望」においての生活拠点を“ブラジル”または“日本”におくかについては、複数回答で女子では最も多かった選択は「ブラジルで大学進学」

で、80.5%であり、そして、ブラジル国で「就職」、「住む」の選んだ生徒はそれぞれ7.3%と12.2%であり、「何かのプロフェッショナルになる」の回答は56.1%に上った。



なお、日本における「大学進学」、「就職」、「住む」、「何かのプロフェショナルになる」、「ブラジルで大学卒業後日本で仕事」を回答した生徒の割合は、7.3%から9.8%を占め、「日本で仕事をしてブラジルへ帰る」と回答した女子が12.2%であった。

一方、男子では「ブラジルで大学進学」をしたいと回答した生徒は女子より少なく51.2%であった。また、ブラジル国で「就

職」、「住む」、「何かのプロフェショナルになる」と回答を選んだ生徒はそれぞれ17.1%、12.2%と26.8%であり、やはりこれも女子より少ないものであった。

そして、日本における「大学進学」、「就職」、「住む」、「何かのプロフェショナルになる」の回答率は14.6%から19.5%の間で、「ブラジルで大学卒業後日本で仕事」を選択した生徒24.4%であった。(表6)

(表6：ブラジル人学校を対象に介入の事前アンケート調査 - 男女別・将来への目標)

性別	将来の目標は何ですか？(複数回答可)	度数	有効%
女子	1. 高校卒業する	28	68.3%
	2. ブラジルで大学進学する	33	80.5%
	3. ブラジルで就職する	3	7.3%
	4. ブラジルに住む	5	12.2%
	5. ブラジルで何かのプロフェショナルになる	23	56.1%
	6. 日本で大学進学する	3	7.3%
	7. 日本で何かのプロフェショナルになる	3	7.3%
	8. 日本に住む	4	9.8%
	9. 日本で就職する	0	.0%
	10. ブラジルで大学卒業後に日本へくる	3	7.3%
	11. 日本で仕事をして、ブラジルに帰る	5	12.2%
	12. その他	5	12.2%
		合計	41
男子	1. 高校卒業する	16	39.0%
	2. ブラジルで大学進学する	21	51.2%
	3. ブラジルで就職する	7	17.1%
	4. ブラジルに住む	5	12.2%
	5. ブラジルで何かのプロフェショナルになる	11	26.8%
	6. 日本で大学進学する	6	14.6%
	7. 日本で何かのプロフェショナルになる	7	17.1%
	8. 日本に住む	8	19.5%
	9. 日本で就職する	6	14.6%
	10. ブラジルで大学卒業後に日本へくる	10	24.4%
	11. 日本で仕事をして、ブラジルに帰る	5	12.2%
	12. その他	7	17.1%
		合計	41

「インターネットにおける経験」については男女共に 100%アクセス経験があり、接続する時のその平均接続時間は女子で 4.3

時間(±3.8)、そして、男子で 5.34 時間(±3.7 時間)であった。(表 7)

(表 7: ブラジル人学校を対象に介入の事前アンケート調査 - 男女別・インターネット接続の平均時間)

性別	アクセス時間の平均値	度数	アクセス時間の標準偏差	アクセス時間の中央値
女	4.30	41	3.798	3.00
男	5.34	38	3.724	4.50
合計	4.80	79	3.774	4.00

そして、インターネット上での様々な経験について、複数回答で男女ともに最も多かった回答が「友達を作った」(72.5%)であった。そして、女子で次に多かった回答は

「ネットで知り合った人に会うように誘われた」で 20%であり、男子では「ポルノサイトに入った」で 50%であった。(表 8)

(表 8: ブラジル人学校を対象に介入の事前アンケート調査 - 男女別・インターネット上で経験した出来事の有無)

性別	ネットでの経験 (複数回答可)	度数	有効%
女子	1. 友だちを作った	29	72.5%
	2. ネットで知り合った人に会うよう誘われた	8	20.0%
	3. ネットで知り合った人を会うよう誘った	1	2.5%
	4. ポルノサイトに入ったことがある	2	5.0%
	5. 上記の経験はない	10	25.0%
	6. その他	4	10.0%
	合計	40	100.0%
男子	1. 友だちを作った	29	72.5%
	2. ネットで知り合った人に会うよう誘われた	8	20.0%
	3. ネットで知り合った人を会うよう誘った	6	15.0%
	4. ポルノサイトに入ったことがある	20	50.0%
	5. 上記の経験はない	6	15.0%
	6. その他	1	2.5%
	合計	40	100.0%

「若者を脆弱な立場に追い込みやすい経験」について男女共に「飲酒」の経験が最も多く、複数回答で女子の間では50%が飲酒経験をしており、男子では63.4%が飲酒経験があった。そして、次に多かった経験

は「タバコ」であり、女子では20%、男子では29.3%であった。また、男子では、「タバコ」を吸うたことの経験者と「身体的・精神的暴力を受けた（いじめ）」経験者が同じく29.3%であった。（表9）

（表9：ブラジル人学校を対象に介入の事前アンケート調査 - 男女別・若者を脆弱な立場に追い込みやすい様々な経験の有無）

性別	経験の種類（複数回答可）	度数	有効%
女子	1. タバコ	8	20.0%
	2. 飲酒	20	50.0%
	3. 援助交際	0	.0%
	4. ドラッグ使用	0	.0%
	5. 万引き	0	.0%
	6. 身体的・精神的暴力（いじめ）被害	7	17.5%
	7. 性的暴力を受けた	0	.0%
	8. 暴力をふるった	0	.0%
	9. 自傷行為	2	5.0%
	10. 上記の経験はひとつもない	17	42.5%
	11. その他	0	.0%
	合計	40	100.0%
男子	1. タバコ	12	29.3%
	2. 飲酒	26	63.4%
	3. 援助交際	0	.0%
	4. ドラッグ使用	0	.0%
	5. 万引き	3	7.3%
	6. 身体的・精神的暴力（いじめ）被害	12	29.3%
	7. 性的暴力を受けた	0	.0%
	8. 暴力をふるった	10	24.4%
	9. 自傷行為	5	12.2%
	10. 上記の経験はひとつもない	10	24.4%
	11. その他	0	.0%
	合計	41	100.0%

「付き合いや性経験」に関する質問では、「性経験者」が非常に少なく、男女共に7.3%であった。また、「ステディーな付き合い」についても、経験者は半数以下で、男女共に37.5%であった。そして、「その場限りの付き合い」については、女子で55%が経験があり、男子では62.5%がその場限りの付き合い経験があったと回答した。

（表）

そして、「その場限り」のはじめての付き合い平均年齢は男女共に11歳の後半であった。また、その初めての時の「相手の年齢」については、女子の回答者の相手の平均年齢は約14歳で、男子のは約12歳であった。さらに、「今までの相手の総数」に関しては女子群では平均的に約5人、男子で

は約 3.8 人、なお、「最近 6 ヶ月間の相手の数」という質問については、この間に付き合いがあった女子のうちの相手の人数は約 1,8 人で、男子では約 1,7 人であった。

そして、「ステディーな付き合い」については、はじめて損経験をもった平均年齢は男女共に約 13.6 歳であった。そして、その初めてのときの「相手の年齢」については、女子では自分の年齢より上でその相手の平均年齢は 16 歳であったことに対し、男子の相手の平均年齢は約 12.8 歳であった。そして、「相手の総人数」に関しては、女子で約 1.3 人、男子で約 1.6 人であった。なお、「過去 6 ヶ月間の相手の数」に関しては、この

期間中に付き合いがあった回答者のみの回答で、女子群の相手の平均人数は 1.2 人で、男子では 1.17 人であった。

なお、「性経験」があると回答した生徒は非常に少なく、女子の性経験者で初めての経験の平均年齢は約 14.7 歳で、男子の平均年齢は約 15.3 歳であった。そして、初めての経験の時の「相手の年齢」については、男女ともにはじめての相手の平均年齢は約 17 歳であった。そして、相手の人数に関しては、女子の平均総人数は 2 人で、男子のは 6 人であり、過去 6 ヶ月の相手の数に関しては、女子では 1 人、男子では約 3.3 人であった。(表 11)

(表 10 : ブラジル人学校を対象に介入の事前アンケート調査 - 男女別・付き合い経験の有無及び、性経験の有無)

性別	経験の有無	「その場限りの付き合い」		「ステディーな付き合い」		「性経験」	
		人数	有効%	人数	有効%	人数	有効%
女子	経験あり	22	55.0	15	37.5	3	7.3
	経験なし	18	45.0	25	62.5	38	92.7
	合計	40	100.0	40	100.0	41	100.0
男子	経験あり	25	62.5	15	37.5	3	7.3
	経験なし	15	37.5	25	62.5	38	92.7
	合計	40	100.0	40	100.0	41	100.0